(Ver.9.0　　2022/11/12)

＜様式 A＞　※試合毎の投球数は、様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 ： 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会　　チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		／	／			／			／			／			／		
対戦相手		VS	VS			VS			VS			VS			VS		
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員） 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート（原本）に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事（役員） 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。